

日本天文学会オンライン報告会（2024年3月19日）

天文学・宇宙物理学分科会の 活動報告

（1）26期の分科会発足

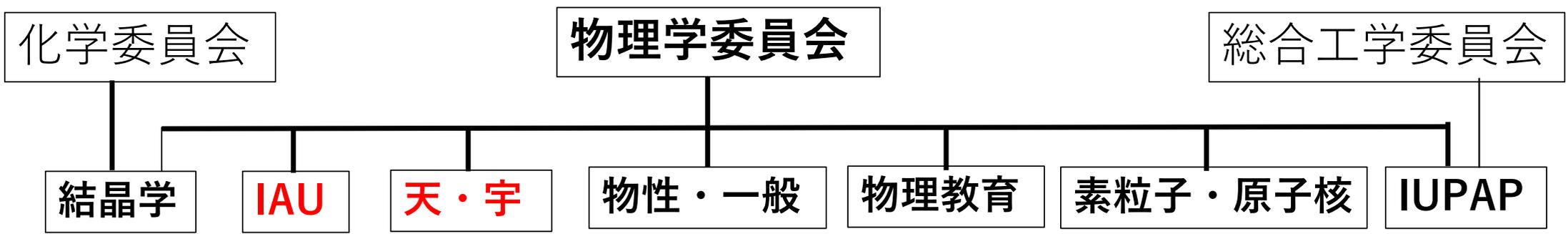
（2）第1回・第2回の活動

(1) 26期の分科会発足

2023年10月より第26期がスタート

<分科会の発足>

- 物理学委員会の下に天文学・宇宙物理学分科会を設置申請し、11月の幹事会で承認。



(1) 26期の分科会発足

< 設置提案書 >

- 物理学委員会の下に、**天文学・宇宙物理学分科会**を設置申請し、**2023年11月の幹事会で承認。**

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	物理学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>宇宙を理解する研究は、宇宙そのものの歴史・構造・運動の理解に留まらず、私たち人間の起源及び宇宙史的位置付けを認識する上で基本的重要性を持っている。それゆえ宇宙は、広く子供や社会人の関心を惹きつけてやまない。本分科会は、天文学・宇宙物理学分野の研究者の英知を集め、関連するコミュニティや物理学・地球惑星科学をはじめとする広範な分野の研究者と連携しつつ、俯瞰的な視野で天文学・宇宙物理学・関連分野の研究の我が国における中長期的発展の方向性を諮る。</p> <p>また、国際的研究者コミュニティとの共同事業を推進して、人類の宇宙の理解に資することを目的とする。関係学協会とは、研究者と学術会議との積極的な連携関係を構築し、目前の課題にボトムアップで議論する学協会を補完する形で、俯瞰的視野で中長期的なミッションの構築を進める。さらに、IAU分科会と協力／分担して宇宙や科学についての社会の理解増進と教育普及に努める。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天文学及び宇宙物理学の推進（長期展望・大型計画・基盤的研究など）に関する事項 2. 研究推進体制、科学政策立案に関する事項 3. 国際協力に関する事項 4. 宇宙・科学に関する知見の普及・教育に関する事項 5. その他関連する事項 6. 上記に関わる報告、提言等の審議決定に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年11月27日～令和8年9月30日
6	備考	

(2) 第1回・第2回の活動

<第1回分科会> 2023年12月12日開催（遠隔）

- 幹事団と新たな連携会員3名を承認。

構成員：会員3名、連携会員22名 計25名

委員（敬称略）：

<天文学・宇宙物理学分野>

奥村幸子（天宇委員長）、**杉山直**、浅井歩（天宇副委員長）、

生田ちさと（IAU副委員長）、今田晋亮、大朝由美子、梶田隆章、河北秀世、坂井南美、新永浩子、住貴宏、田代信、常田佐久、長尾透、林正彦、深川美里、藤澤健太（幹事）、山崎典子、山田亨、渡部潤一（IAU委員長）

<地球惑星科学分野> **倉本圭**、佐々木晶、藤井良一

<素粒子物理学分野> 中畑雅行、村山齊

(2) 第1回・第2回の活動（つづき）

< 第2回分科会 > 2024年1月29日開催（遠隔）

- 機関報告（宇宙科学研究所、国立天文台、宇宙線研究所）
- 「未来の学術振興構想」について
（<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>）
 - 19個のグランドビジョン。主に18番と19番が本分科会に関係する。
 - 策定の経緯：広い分野での議論、ボトムアップで全体像を示す。
 - 決定の経緯：合計194、分野横断型が約半数。不採択10件。
- 分科会として25期終わりに将来計画についての冊子（記録：天文学・宇宙物理学の長期計画—2030-2040年代のビジョン—、<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kiroku/3-20230801.pdf>）を作成。
- 26期も**科学者委員会**の下に**学術研究振興分科会**を設置し、この構想を普及し、内容を精査する活動を行う予定。

「未来の学術振興構想（2023年版）」のグランドビジョン一覧

- ① 言語・コミュニケーション研究の充実を踏まえた現代社会問題のデータ解析による解決策の提示（3）
- ② 長い時間軸・大きな空間軸・多様な視点からのヒトと社会の科学（12）
- ③ 日本史学を含めた非西洋史学の再構築と国際協働（2）
- ④ 地球の生命環境と食料供給を持続させるための学術創生（6）
- ⑤ 生命現象の包括的理解による真のWell-beingの創出（18）
- ⑥ ビッグデータ駆動による生命科学の新たな発展（6）
- ⑦ ヒトの知性を知る、創る、活かすための学術の創生（10）
- ⑧ 超スマート社会における人の能力拡張とAIとの共生（10）
- ⑨ サイバー空間の構築・活用による価値創造（10）
- ⑩ データ基盤と利活用による学術界の再構築（20）
- ⑪ 数学・数理科学・量子情報科学が切り拓く未来社会（13）
- ⑫ 観測技術革新による地球システムの理解と地球変動予測への展開（12）
- ⑬ 地球規模の環境危機にレジリエントな持続的社会的構築（12）
- ⑭ エネルギーと環境の両立的課題解決（12）
- ⑮ 持続可能社会に資する革新的な物質・材料の開拓（9）
- ⑯ 量子ビームを用いた極限世界の解明と人類社会への貢献（15）
- ⑰ 太陽系探査の推進と人類のフロンティア拡大（7）
- ⑱ 宇宙における天体と生命の誕生・共進化の解明（17）
- ⑲ 自然界の基本法則と宇宙・物質の起源の探求（14）